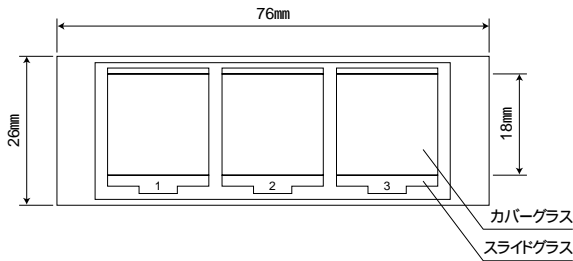


検鏡プレート

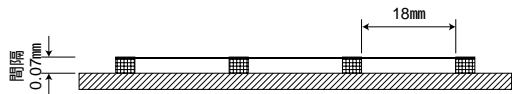
2-4022-01.02

外形寸法図(3窓タイプ)

平面図



断面図



性能表

従来法とセキスイ検鏡プレートによる有形成分の分布状態比較

尿沈渣検鏡の場合

従来法

(スライドガラスとカバーガラスを別々に用いる方法)

10	25	28
	22	
15	25	26
	25	
25	28	30

固定法

(セキスイ検鏡プレート)

25	32	33
	30	
23	24	32
	28	
25	25	28

仕様

3窓タイプ

	一窓の容積(計算値)	実測値(水)	
		平均(mg)	CV(%)
セキスイ検鏡プレート	$18 \times 18 \times 0.07 = 22.6 \mu\ell$	20.3	0.6
従来滴下法	$18 \times 18 \times ? = \text{一滴}$	26.7	22.0

5窓タイプ

一窓の容積(計算値)	実測値(水)	
	平均(mg)	CV(%)
$12 \times 10 \times 0.07 = 8.4 \mu\ell$	8.1	0.5

従来法とセキスイ検鏡プレートによる再現性の比較
(赤血球数)

尿沈渣検鏡の場合

	従来法			固定法			
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	
一人が同一検体を見た場合	12	42	30.5	26	38	33.0	
	12	29	24.0	25	40	35.5	
	7	45	35.0	23	45	37.0	
	7	45	29.8	23	45	35.1	
三人が同一検体を見た場合	(a)	3	10	7.5	15	25	18.6
	(b)	5	16	10.5	18	24	22.4
	(c)	11	30	24.0	20	28	25.0
		3	30	14.0	15	28	22.0